

平成21年11月18日

新那賀川橋(仮称)の上部工に着手
～四国横断自動車道 阿南～小松島間で最初の上り工～

【ポイント】

- ・平成21年11月20日より、区間内で最初の橋の上部工事に着手
- ・場所は、那賀川を跨ぐ、阿南市羽ノ浦町岩脇～下大野町大野原
- ・橋長は339m



【概要】

- ・平成23年7月末の完成を目指し、工事を順次着手
- ・上部工事の最盛期は、平成22年5月頃～平成22年12月頃の予定
- ・工事は暫定2車線(対面通行)の工事を実施

国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

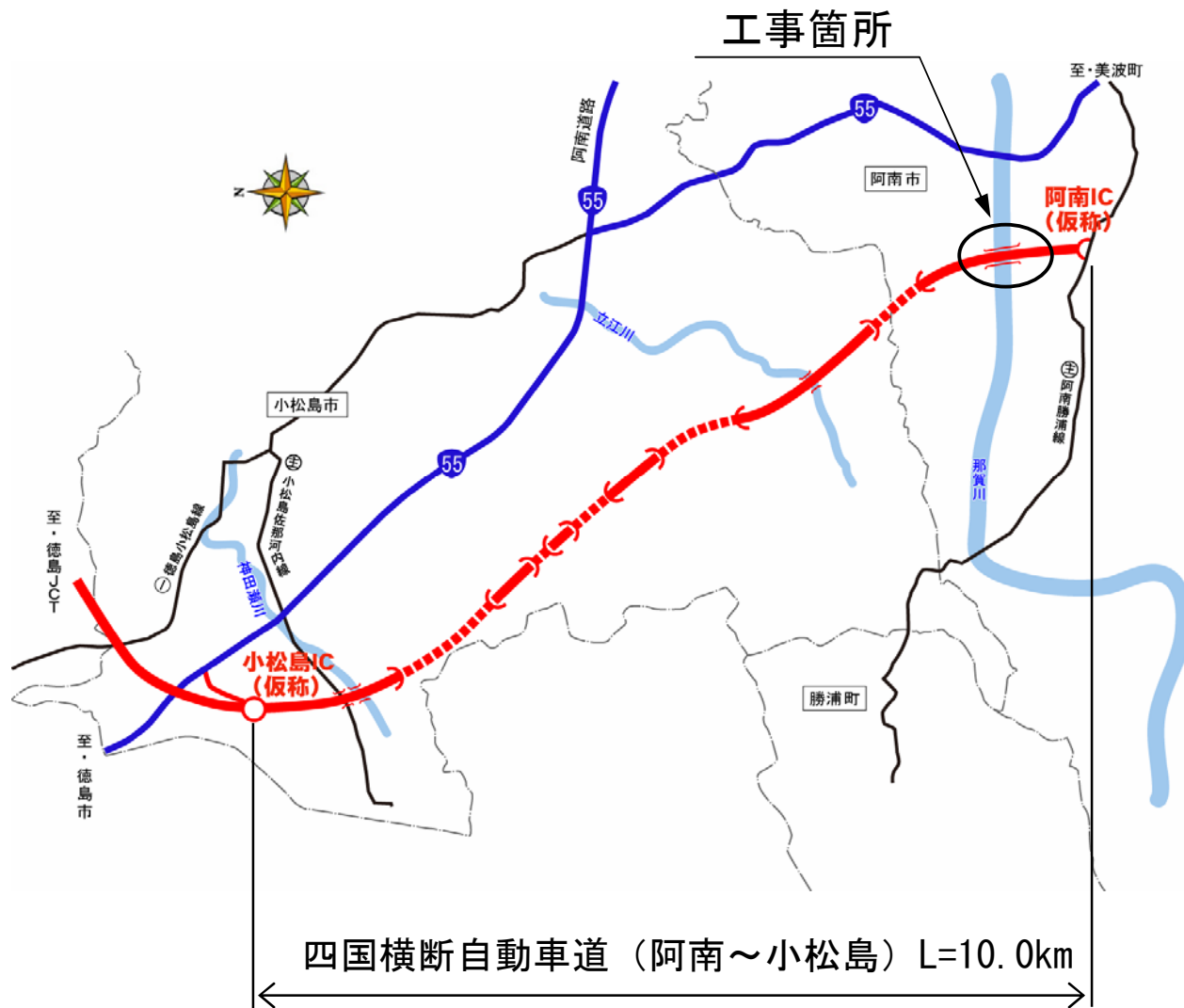
TEL: 088-654-2211(代表) TEL: 088-654-9162(直通)

副所長(道路) 上林 正幸 内線205

◎工務第二課長 門田 隆志 内線411

◎: 主たる問い合わせ先

位置図及び事業概要



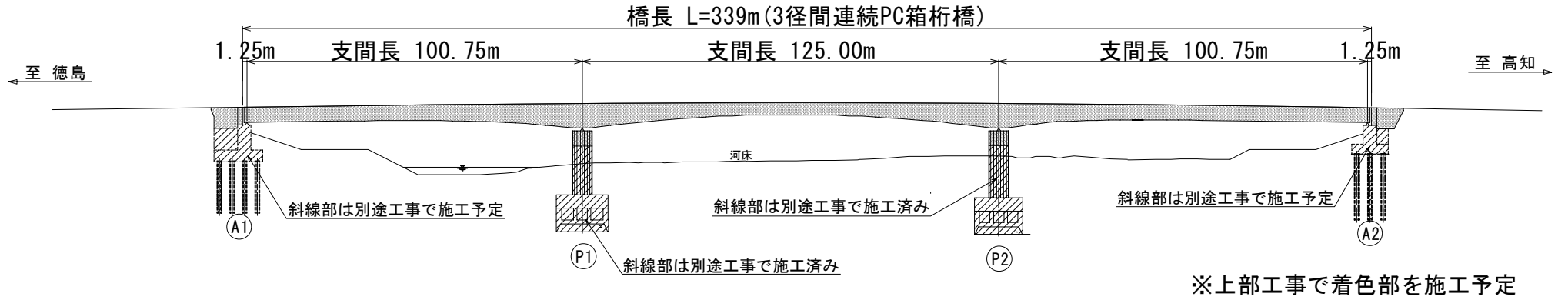
【事業概要】

四国横断自動車道は、阿南市を起点に、徳島市、高松市を経て四国中央市において四国縦貫自動車道と交差し、高知市、四万十市を経て大洲市に至る延長約441kmの路線である。この路線は、「四国8の字ネットワーク」の大部分を占め、四国における信頼性の高い道路ネットワークの確保や地域の閉塞感の解消など、広域交流と地域の「安心」と「活力」を支える重要な路線である。

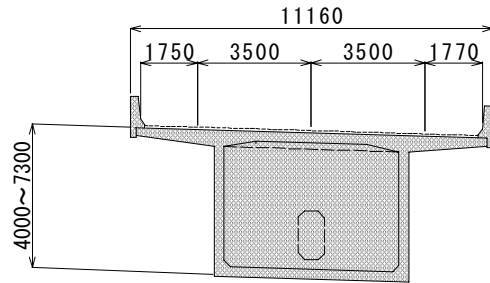
阿南～小松島間は、新直轄方式により整備される区間であり、高速ネットワークの空白地帯解消のために計画されている地域高規格道路「阿南安芸自動車道」と相まって、四国東南部の発展に重要な役割を果たすことが期待されている延長約10kmの区間である。

※新直轄方式とは、道路関係四公団の民営化後の新たな会社による高速自動車国道の整備の補完措置として、必要な高速自動車国道を建設するため、国と地方の負担(国:地方=3:1)により国土交通大臣が整備する方式である。対象路線は、料金収入により管理費を賄えない路線、または地元公共団体が強くこの方式による整備を望む路線・区間であり、通行に際して料金を徴収しない。

側面図

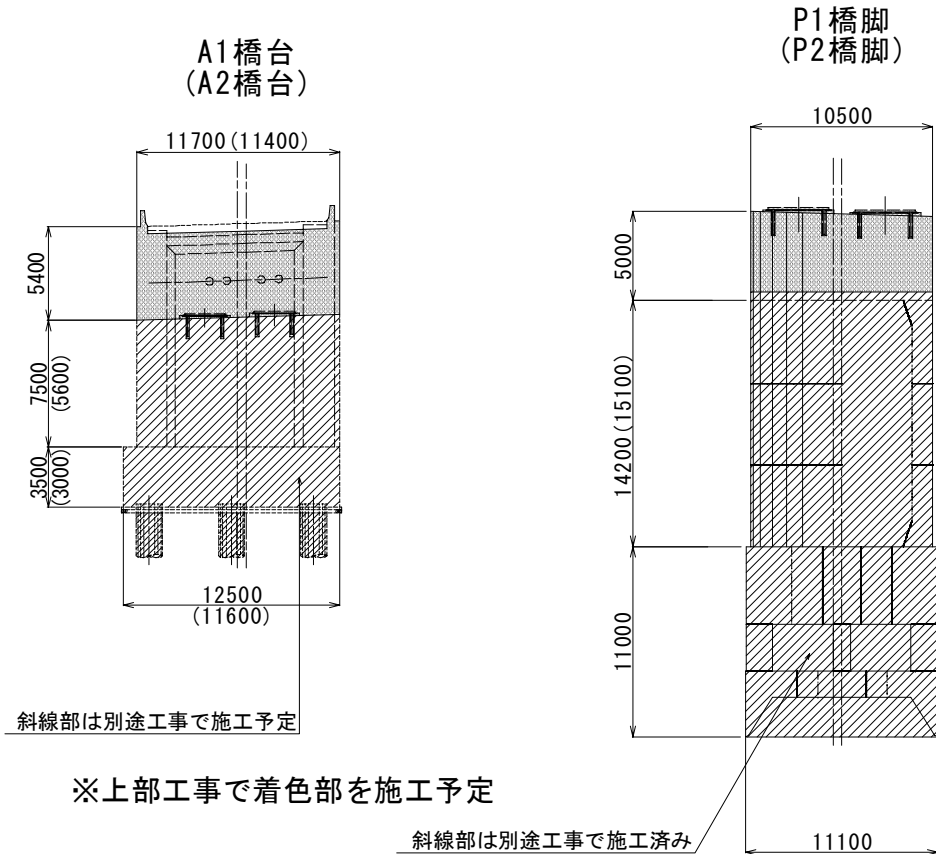


上部工標準断面図



注) イメージ図のため縮尺はありません。
単位表示の無い寸法はmmを示している。

下部工標準断面図



【参考】最盛期の状況



阿南道路(阿南市橘町江ノ浦)にて